

走行チェックシート

日付	2011年8月28日 (日)		時間	~	イベント	2011MFJ全日本ロードレース選手権シリーズ第5戦		
天気	曇り		マシン	GSX-R600 L1	ライダー	手島雄介		
コース	名称	スポーツランドSUGO			気温	25	°C	
	コンディション	DRY			気圧	989	hpa	
	路面温度	35.0°C	(計測時間)		湿度	50	%	
エンジン	スパークプラグ	NGK R0045Q-10		エンジンOIL	シェルアドバンス ウルトラ10W-40			
	ファイナルレシオ	15 x 45(3.0)						
トランスミッション	1st	43/16	2.69	4th	35/23	1.52		
	2nd	40/19	2.11	5th	32/23	1.39		
	3rd	37/21	1.76	6th	32/26	1.23		
フロント	パーツ名	SHOWA KIT		TEN	-11			
	スプリング	9.50	N/m	OIL	SR6 #5			
	自由長	-	mm	油面	110	mm		
	イニシャル	11	mm	残ストローク	mm			
	COMP	MAX		突き出し	-3	mm		
リア	パーツ名	SHOWA KIT (316.5mm)		TEN	-8			
	スプリング	96.5	N/m	残ストローク	mm			
	自由長	-	mm	リンク	STD			
	イニシャル	12	mm	リンクロッド	STD	mm		
	COMP(HI)	+1回転		車高	STD±0mm			
	COMP(LO)	-12						
タイヤ	フロント			リア				
	銘柄	ダンロップ アンビートン02 (R2 ミディアム)		銘柄	ダンロップ アンビートン02 (R2 ミディアム)			
	サイズ	120/70R17		サイズ	180/55R17			
	エア圧	190		エア圧	150			
チェック	順位	18		ベストラップ	1'33.940			
	水温	°C		油温	°C			
	ガソリン	IN	-	ℓ	走行距離	km		
		OUT	-	ℓ	燃費	km/ℓ		

<コメント>
 皆様お待たせいたしました。
 今年もSUGOの季節がやってきました。
 さて、事前テストの走り始めは茂木と同じ姿勢でスタート。
 パネレートは狙いがあった柔らかめで。結果リアのパネを少し硬くしました。
 車体は少し振りましたが元の姿勢に。
 まだまだ問題点は多いのですが車体バランスは今のところに落ち着きました。
 今回はマフラーの仕様を変更してきました。ST600クラスはエンジンを改造することができないので、エンジンの出力特性を変化させるにはここが効きます。
 以前のもの比べるとロガー上で速度が上回っていることを確認できたので新仕様を採用。
 レースウィーク初日が霧のためST600クラスは走行が中止になったので、予定していたテスト内容が確認できませんでした。
 翌日土曜日の新設された20分のフリー走行で確認することに。しかし予選時間と近いこともあってビックチェンジはしないことに…。
 予選開始前から小雨が降りだしてきて、WET宣言の中予選開始。微妙なコンディションでは間違いの無い手島選手。
 一時予選2位まで上がりましたが、他車もタイムを上げてきたため、12番手で予選終了。
 決勝レース。スタートは良かったのですが1コーナーで行き場が無く順位を落として16番手で一周目を終えました。
 ストレートでつらい展開が多くなかなか順位を上げられずに18位でゴール。
 またしても課題の多く残るレースになりました。
 次回はオートポリスですが、ST600はお休みです。しかし、手島選手はアジア選手権でフィリピンズズギからのエントリーです。
 応援よろしく願います。

レーシングサプライ
 畑中 健太郎

